



2026年3月期第2四半期（中間期）

決算説明資料

（ハイライト情報）

2025年10月30日

蝶理株式会社

決算概要のポイント

POINT

中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025（CIP2025）」を推進

- ・ CIP2025最終年度である2026年3月期通期業績予想達成に向け、売上総利益率改善を推進中。

業績概要

- 前年同期比減収減益。

財務基盤

- 自己資本比率 65.6% 高水準を維持。
- ROE※1 11.0%
- ROIC※2 10.3%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益（年間ベース）

※2 ROIC = 税引後営業利益（年間ベース）÷ 投下資本（自己資本 + 有利子負債）期中平均

トピックス

- 新中期経営計画策定プロジェクトをスタート。事業戦略、財務戦略、非財務戦略、人的資本、デジタル変革の各ワーキングチームを設置。「選ばれる会社」になるための諸施策を検討中。
- 「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に2年連続選定。

業績内容（前年同期比）

POINT

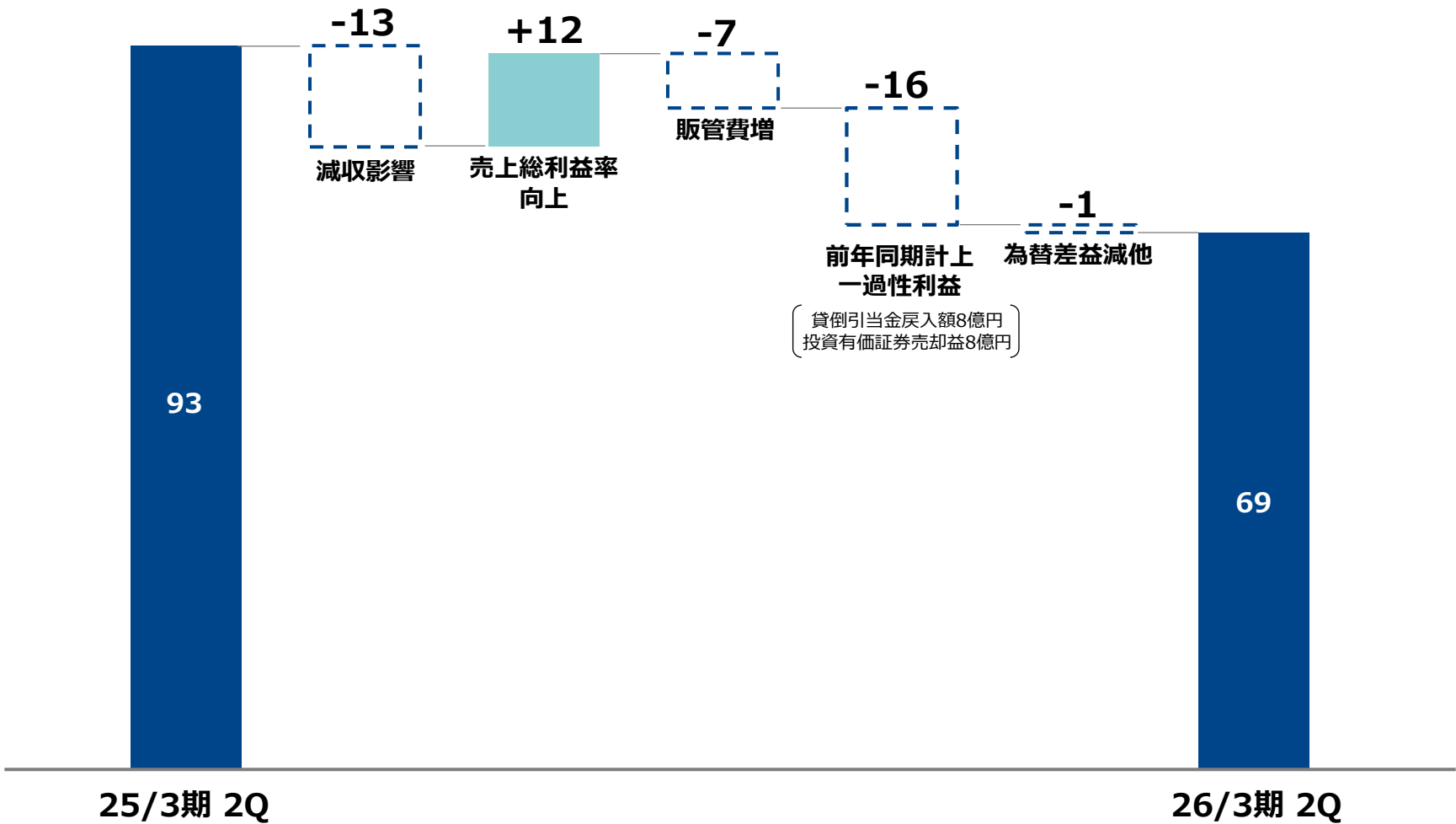
- 日本経済は、雇用・所得環境は堅調を維持しており、緩やかな回復基調が継続。
世界経済は、中国の内需の減速感や米国の関税政策等、先行きは不透明な状況。
- 市況低迷や為替の影響等により減収。売上総利益率の改善はあるも、減収が響き、販管費の増加を吸収できず営業利益は減益。加えて、前年同期に計上した貸倒引当金戻入額や投資有価証券売却益の反動等により、税金等調整前中間純利益は大幅減益。

（単位：億円）

	25/3期 2Q	26/3期 2Q	増減額	増減率
売上高	1,545	1,450	-95	-6.1%
売上総利益	204	203	-0	-0.2%
販売費及び一般管理費	130	137	+7	+5.6%
営業利益	74	66	-8	-10.5%
経常利益	86	68	-17	-20.1%
税金等調整前中間純利益	93	69	-25	-26.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	70	51	-19	-27.3%

税金等調整前中間純利益の主な増減要因

(単位：億円)

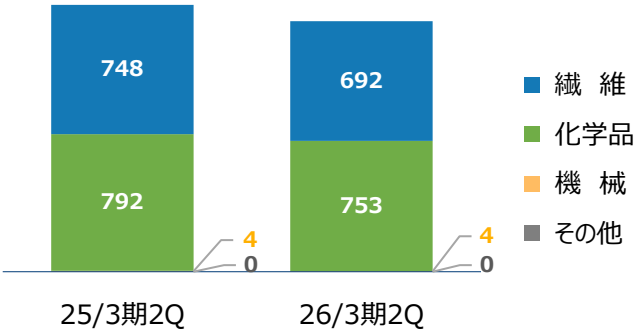


セグメント業績



売上高

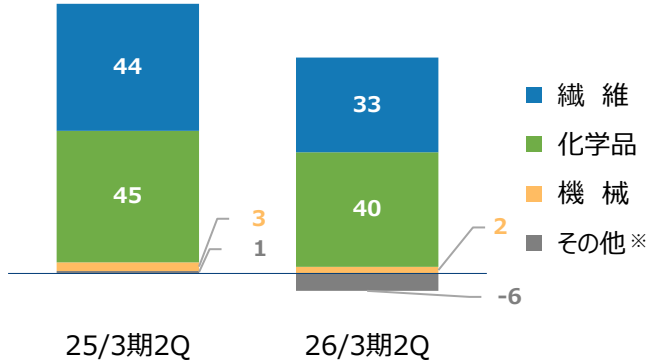
(単位：億円)



	25/3期 2Q	26/3期 2Q	増減額
繊維	748	692	-55
化学品	792	753	-39
機械	4	4	-1
その他	0	0	-0
合計	1,545	1,450	-95

税金等調整前中間純利益又は損失

(単位：億円)



	25/3期 2Q	26/3期 2Q	増減額
繊維	44	33	-11
化学品	45	40	-6
機械	3	2	-1
その他※	1	-6	-7
合計	93	69	-25

※「その他」には調整額を含んでおります。

繊維 減収減益

低調

カーシート資材・繊維製品

減速

中東・中国向けテキスタイル販売

減益

投資有価証券売却益の反動

化学品 減収減益

回復

ファインケミカル

低調

パフォーマンスケミカル

減益

貸倒引当金戻入額の反動

機械 減収減益

堅調

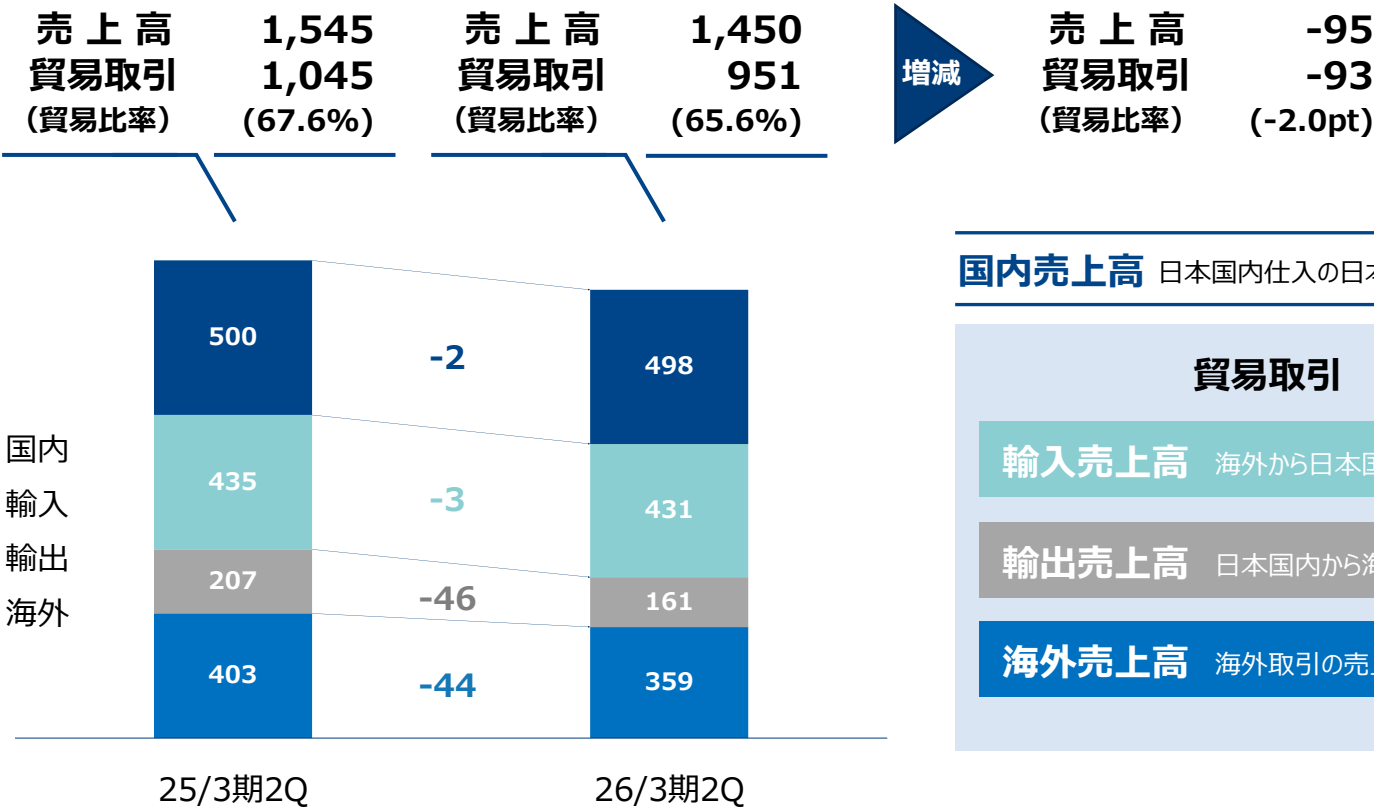
中南米向け自動車販売

形態別売上高

POINT

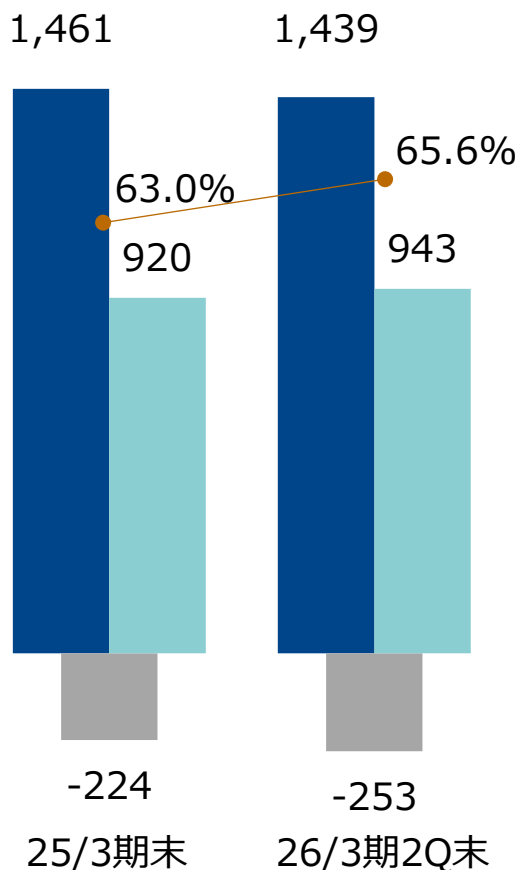
- 国内売上高は化学品事業が減少。輸入売上高は繊維事業が減少。海外向け（輸出、海外）は繊維事業、化学品事業ともに減少。
- 貿易比率：65.6%（前年同期比 -2.0pt）

（単位：億円）



(単位：億円)

■ 総資産 ■ ネット有利子負債 ■ 自己資本 ● 自己資本比率



財務健全性

	25/3期末	26/3期 2Q末	増減
総資産	1,461	1,439	-22
ネット有利子負債	-224	-253	-29
自己資本	920	943	+23
自己資本比率	63.0%	65.6%	+2.6pt

収益性・資本効率

	25/3期末	26/3期 2Q末※3	増減
ROA※1	8.1%	7.1%	-1.0pt
ROE※1	13.4%	11.0%	-2.4pt
ROIC※2	11.1%	10.3%	-0.8pt
(参考) ROA (経常利益ベース)	11.2%	9.4%	-1.8pt

※1 親会社株主に帰属する当期純利益ベース

※2 ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本（自己資本 + 有利子負債）期中平均

※3 年間ベース

キャッシュ・フローの状況

POINT

- 営業活動：税金等調整前中間純利益（+69億円）等により+59億円
- 投資活動：有形固定資産の取得（-1億円）等により-4億円
- 財務活動：配当金の支払い（-20億円）等により-23億円

（+：キャッシュイン、－：キャッシュアウト）

（単位：億円）

	25/3期 2Q	26/3期 2Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	21	59	+39
投資活動によるキャッシュ・フロー	2	-4	-6
財務活動によるキャッシュ・フロー	-21	-23	-2
換算差額	9	-8	-16
キャッシュ・フロー合計	10	24	+14
現金及び現金同等物の中間期末残高	220	256	+35

2026年3月期業績予想

POINT

- CIP2025最終年度は成長戦略の基盤構築を遂行。新基幹システム（SAP）を稼働。
売上高はCIP2025最終年度計画比減収を見込むが、収益性の改善を継続し、利益は安定的に確保。
- 2026年3月期第2四半期（中間期）業績は、概ね想定通りに進捗。

(単位：億円)		26/3期 2Q実績	26/3期 予想	26/3期 進捗率	25/3期 通期実績
売上高		1,450	3,300	43.9%	3,115
	繊維	692	1,660	41.7%	1,527
	化学品	753	1,630	46.2%	1,579
	機械	4	10	35.5%	9
	その他	0	—	—	1
税金等調整前当期（中間）純利益又は損失		69	160	42.8%	163
	繊維	33	78	41.9%	77
	化学品	40	89	44.5%	89
	機械	2	3	76.3%	6
	その他 [※]	-6	-10	—	-9
親会社株主に帰属する当期（中間）純利益		51	110	46.5%	117

※「その他」には調整額を含んでおります。

2026年3月期配当金

配当の基本方針

- 継続的・安定的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。
- 配当方針：連結配当性向30%かつ株主資本配当率（DOE）3.5%以上

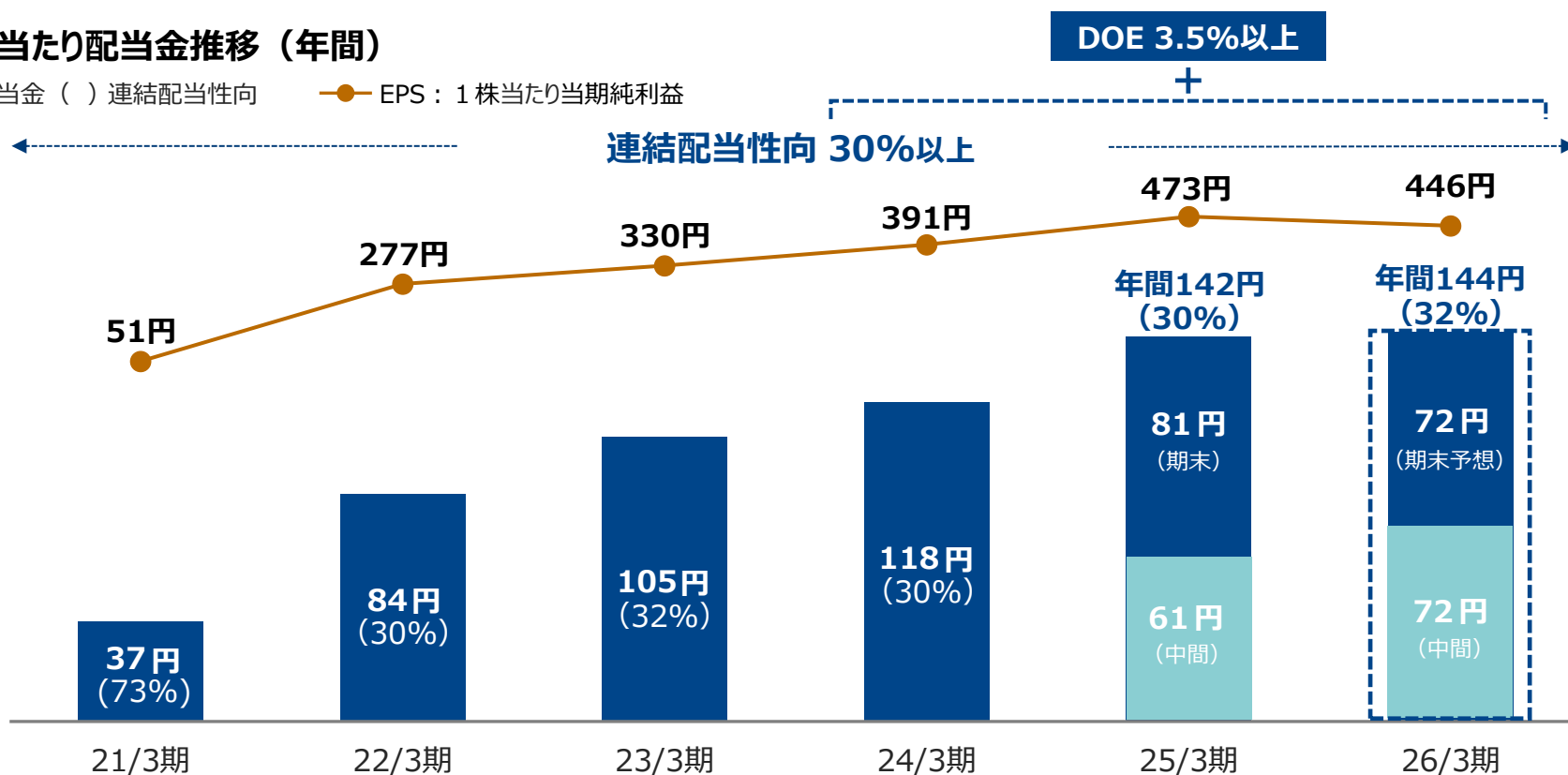
2026年3月期
年間配当予想

2025年4月28日公表の通期業績見通し及び上記配当方針に基づき、中間配当72円を実施。年間配当金144円（期末配当72円）の見通し。

1株当たり配当金推移（年間）

■ 配当金（ ）連結配当性向

—●— EPS：1株当たり当期純利益





あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、
本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。